

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会  
第 67 回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

- 1 日時 2016 年 5 月 26 日 (木) 13:30～16:50
- 2 場所 5 東洋海事ビル D 会議室
- 3 出席者 (順不同, 敬称略)  
(出席委員) 新堀副部長, 加藤幹事, 伊藤, 上田, 川上, 熊谷, 熊崎, 小山, 坂下 (途中から退室), 白井, 仙波, 高橋 (途中から入室), 田中, 中島, 平井, 深澤, 藤田, 山本 (18 名)  
(代理委員) 森本恵次 (関西電力/片岡), 石塚隆雄 (東京工業大学/木倉), 都筑康男(原子力安全推進協会/柳原) (3 名)  
(欠席委員) 大久保, 小畑 (2 名)  
(常時参加者候補) 吉居大樹 (原子力規制庁) (1 名)  
(事務局) 中越, 谷井 (2 名)

4 配付資料

- FTC67-0 第 67 回原子燃料サイクル専門部会議事次第 (案)
- FTC67-1 第 66 回原子燃料サイクル専門部会議事録 (案)
- FTC67-2 人事について
- FTC67-3-1 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る覆土の施工方法及び施設の管理方法 (案) : 201X” 改定案の標準委員会決議投票結果
- FTC67-3-2 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る覆土の施工方法及び施設の管理方法 (案) : 201X” 改定案の標準委員会決議投票における意見への対応表
- FTC67-3-3 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る覆土の施工方法及び施設の管理方法 (案) : 201X” 改定案の標準本体修正案 (全文)
- FTC67-3-4 “低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る覆土の施工方法及び施設の管理方法 (案) : 201X” 改定案の附属書修正案 (修正箇所のみ抜粋)
- FTC67-4-1 “浅地中処分の安全評価手法 : 201X (案)” の原子燃料サイクル専門部会決議投票結果
- FTC67-4-2 “浅地中処分の安全評価手法 : 201X (案)” の原子燃料サイクル専門部会決議投票における意見への対応表
- FTC67-4-3 “浅地中処分の安全評価手法 : 201X (案)” の標準本体及び解説修正案 (全文)
- FTC67-4-4 “浅地中処分の安全評価手法 : 201X (案)” の附属書修正案 (修正のある附属書全文)
- FTC67-5-1 『クリアランスの判断方法 : 2005 (AESJ-SC-F005 : 2005)』 の誤記等  
内容検討結果について

- FTC67-5-2 別紙1『クリアランスの判断方法：2005（AESJ-SC-F005：2005）』の誤記等内容検討結果
- FTC67-5-3 別紙2 クリアランスの判断方法標準 新旧比較表
- FTC67-5-4 別紙3 正誤表(案)
- FTC67-6-1 “トレンチ処分対象廃棄物の埋設に向けた取扱い及び検査の方法：2010”改定要否検討結果
- FTC67-6 添付資料－1 現行標準記載内容等の修正可否検討結果(特に法令等を基にした)
- FTC67-6 添付資料－2 各国における廃棄物分類と処分先
- FTC67-7-1 “標準委員会 専門部会運営通則”改正案の原子燃料サイクル専門部会決議投票結果
- FTC67-7-2 “標準委員会 専門部会運営通則”改正案の原子燃料サイクル専門部会決議投票への意見対応
- FTC67-8 分科会活動状況
- 参考資料
- FTC67-参考1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿
- FTC67-参考2 標準委員会の活動状況

## 5 議事内容

事務局から開始の時点で委員23名中、代理委員を含め20名の出席があり、成立に必要な委員数(16名以上)を満足している旨報告された。

### (1) 前回議事録の確認 (FTC67-1)

前回議事録(案)について事前に配付されていた内容で承認された。

### (2) 人事について (FTC67-2)

配付資料FTC67-2に基づいて、専門部会及び分科会の人事について下記のとおり審議を行った。

#### 【原子燃料サイクル専門部会】

有富部会長の退任に伴い部会長の互選投票を行った結果、新堀副部会長19票、高橋委員1票で、新堀副部会長が部会長に選任された。新堀部会長の選任に伴い、副部会長に高橋委員が指名され、幹事に加藤委員が指名された。

専門部会での人事について以下の提案があった。

#### 1) 委員長退任の確認

有富 正憲 (東京工業大学)

#### 2) 委員退任の確認

有富 正憲 (東京工業大学)

金木 宏明 (日揮)

3) 委員選任の決議

久保 美和 (日揮)  
齊藤 拓己 (東京大学)

4) 委員再任の決議

木倉 宏成 (東京工業大学)  
熊谷 守 (日本原燃)

5) 常時参加者登録解除の確認

丸岡 邦男 (原子力規制庁)

6) 常時参加者登録承認の決議

吉居 大樹 (原子力規制庁)

審議の結果、確認又は再任、選任若しくは承認決議された。

【分科会】

分科会での人事について以下の提案があった。

1) 分科会主査退任の確認

リサイクル燃料貯蔵分科会  
小田野 直光 (海上技術安全研究所)

2) 委員退任の確認

LLW 廃棄体等製作・管理分科会

岡本 孝司 (東京大学)  
近江 正 (日本原子力発電)

LLW 埋設後管理分科会

宮本 智司 (日本原子力発電)

LLW 埋設施設検査方法分科会

宮本 智司 (日本原子力発電)

LLW 処分安全評価分科会

宮本 智司 (日本原子力発電)

臨界安全管理分科会

岩田 豊 (日立 GE ニュークリア・エネルギー)

リサイクル燃料貯蔵分科会

小田野 直光 (海上技術安全研究所)  
須山 賢也 (日本原子力研究開発機構)

3) 委員選任承認の決議

LLW 廃棄体等製作・管理分科会

野口 裕史 (日本原子力発電)

LLW 埋設後管理分科会

野口 裕史 (日本原子力発電)

LLW 処分安全評価分科会

野口 裕史 (日本原子力発電)

臨界安全管理分科会

石井 一弥（日立 GE ニュークリア・エナジー）

リサイクル燃料貯蔵分科会

浅見 光史（海上・港湾・航空技術研究所）

亘 真澄（電力中央研究所）

山根 祐一（日本原子力研究開発機構）

4) 分科会主査選任承認の決議

リサイクル燃料貯蔵分科会

木倉 宏成（東京工業大学）

5) 分科会副主査指名の確認

リサイクル燃料貯蔵分科会

浅見 光史（海上・港湾・航空技術研究所）

6) 分科会幹事指名の確認

LLW 廃棄体等製作・管理分科会

都筑 康男（原子力安全推進協会）

リサイクル燃料貯蔵分科会

白井 茂明（リサイクル燃料貯蔵）

7) 常時参加者登録解除の確認

LLW 廃棄体等製作・管理分科会

江河 正利（関電パワーテック）

水井 宏之（日本原子力研究開発機構）

小足 隆之（電気事業連合会）

武部 慎一（日本原子力研究開発機構）

佐々木 利久（日本原子力研究開発機構）

辻 智之（日本原子力研究開発機構）

8) 常時参加者登録承認の確認

LLW 廃棄体等製作・管理分科会

浦上 学（関電パワーテック）

宝珍 禎則（日本原子力発電）

手塚 将志（日本原子力研究開発機構）

LLW 処分安全評価分科会

中谷 隆良（日本原子力研究開発機構）

仲田 久和（日本原子力研究開発機構）

審議の結果、確認又は承認決議された。

（3）【報告・審議】“低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る覆土の施工方法及び施設の管理方法（案）：201X”改定案の標準委員会決議投票結果について（FTC67-3-1, FTC67-3-2, FTC67-3-3, FTC67-3-4）

事務局から FTC67-3-1 に基づいて、“低レベル放射性廃棄物の埋設地に係る覆土の施工方法及び施設の管理方法（案）：201X”改定案の標準委員会決議投票の結果、可決されたことが報告された後、引き続き LLW埋設後管理分科会の吉原幹事から、FTC67-3-2, FTC67-3-3, FTC67-3-4 に基づいて、標準委員会決議投票で受付けた意見への対応案について報告があり、審議の結果、標準委員会決議投票で出された意見への対応案は承認され、①対応案は編集上の修正であること及び②対応案を標準委員会で報告することが決議された。

質疑等は以下の通り。

- Q. 箇条 6 の 6.5.3 廃棄物埋設地に係る保全のための措置に関して、本文の表現を簡潔にして保安のための措置内容が列挙されている箇条書きだけを残したのはよいが、修正前の本文に記載されていた“農耕等の特定行為の禁止又は制約”が箇条書きの中に見当たらない。重要な措置であるから加えるべきではないか。
- A. 拝承。箇条書きに“農耕等の特定行為の禁止又は制約”を加える。
- C. 指摘事項対応 7 の“埋設段階”の定義で体言止めが修正されていない。
- A. 拝承。標準本体の修正に合わせて対応表を修正して標準委員会へ提示する。
- C. 指摘意見に反して現状維持としている「附属書 A（標準と法令の対比）の解説への移動」に関しては、標準委員会の基本戦略タスクの議論でも結論が出ていないようであるが、標準と法令の対比のような重要事項を標準の一部ではない解説に書くのは適切ではないので、分科会で決めた対応案でよい。
- A. 拝承。標準委員会への報告の際には、専門部会ではそのような意見があったことを伝え、標準委員会で最終的な判断を出す上での参考としていただく。

（４）【報告・審議】“浅地中処分の安全評価手法：201X（案）”の原子燃料サイクル専門部会決議投票結果について（FTC67-4-1, FTC67-4-2, FTC67-4-3, FTC67-4-4）

事務局から FTC67-4-1 に基づいて、“浅地中処分の安全評価手法：201X（案）”の原子燃料サイクル専門部会決議投票の結果、可決されたことが報告された後、引き続き、LLW 処分安全評価分科会の山本幹事から、FTC67-4-2, FTC67-4-3, FTC67-4-4 に基づいて、原子燃料サイクル専門部会決議投票で受付けた意見への対応案について報告があり、審議の結果、受付けた意見への対応案は承認され、①対応案は編集上の修正であること及び②対応案を標準委員会で報告することが決議された。

質疑等は以下の通り。

- C. 「年」の単位表示で、「年」そのまま使用している箇所と annum（年）の略号の「a」を使用している箇所が混在しているので適切に使い分けること。また、「a」を使う時は annum の略号を表わす「a」であるという注記を適宜挿入しておくこと。
- A. 拝承。文中の記載では「年」を使い、 $m^3/a$  などのパラメータを示す表や数

式では「a」を使用するように統一する。

- C. クォーテーションマーク“～”の使用において、強調する箇所や単に略語であることを示す箇所などが混在しており、適切に使い分けること。「、」は「,」にすること。
- A. 拝承。全体を通して、クォーテーションマークや「、」使用の適正化をはかる。
- C. 放射能濃度評価に関わる現行標準の引用で、「中深度処分」の語句が使われているが、まだ国で正式に決まった概念・用語ではないので、従来の「余裕深度処分」に戻すこと。「原子力安全・保安院」の引用では、頭に「旧」をつけること。
- A. 拝承。御指摘の頁以外にも該当する箇所があれば修正する。

(5) 【報告・審議】”クリアランスの判断方法：2005 (AESJ-SC-F005：2005)”の誤記等内容検討結果について (FTC67-5-1, FTC67-5-2, FTC67-5-3, FTC67-5-4)

クリアランスレベル検認分科会の沼田元幹事から FTC67-5-1, FTC67-5-2, FTC67-5-3, FTC67-5-4 に基づいて,”クリアランスの判断方法：2005 (AESJ-SC-F005：2005)”の誤記等内容検討結果について報告があつた。

審議の結果、誤記等内容検討結果(正誤表案)を承認し、検討結果を標準委員会で報告することが決議された。

質疑等は以下の通り。

- ・正誤表の添付7の一番右側の図の縦軸が抜けているので、修正の上で標準委員会に報告することになった。

(6) 【報告・審議】”トレンチ処分対象廃棄物の埋設に向けた取扱い及び検査の方法：2010”の改定要否検討結果について (FTC67-6-1, FTC67-6 添付資料－1, FTC67-6 添付資料－2)

LLW 廃棄体等製作・管理分科会の都筑幹事、田中委員から FTC67-6-1, FTC67-6 添付資料－1, FTC67-6 添付資料－2 に基づいて、改定不要であるという改定要否検討結果案が報告された。

審議の結果、原子燃料サイクル専門部会決議投票への移行が決議された。

質疑等は以下の通り。

- C. 改定不要分科会案の「1. 最新知見」の最後の文章で「～本標準を参考として申請され、問題はなかった。」とあるが、現在申請・審査中であり、問題はなかったと言い切ることは無理と考えられる。適切な文章に訂正のこと。
- A. 申請は受理されているということでこのような表現としている。但し、審査中で問題なかったか否かは不明のため修正を検討する。
- Q. 添付資料-2 のフランス 極低レベルに記載されている「施設：CSTFA モルビリエ中低レベル処分場」は何か。

A. 中低レベルは誤記のため修正する。 また、処分場名を確認する。

(7) 【報告・審議】“標準委員会 専門部会運営通則”改正案の原子燃料サイクル専門部会決議投票結果について (FTC67-7-1, 2 FTC67-7-2)

事務局から FTC67-7-1 に基づいて、“標準委員会 専門部会運営通則”改正案の原子燃料サイクル専門部会決議投票の結果, 可決されたことが報告された後, 引き続き事務局から FTC67-7-2 に基づいて, 決議投票で受付けた意見への対応案について報告があり, 審議の結果, 対応案は承認された。

## 6 その他

- ・委員から原子燃料サイクル専門部会名簿に記載された所属業種について疑問が出たことから, 事務局で持帰り検討した結果を次回に報告することとなった。
- ・次回第 68 回原子燃料サイクル専門部会は, 9 月 2 日 (金) 13:30 から開催することとなった。

以上